

次に、宮島 宏議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。〔14番 宮島 宏君登壇〕

○14番（宮島 宏君）

おはようございます。清新クラブの宮島 宏です。

今回の私の一般質問では、4つの項目について質問をさせていただきます。

1、黒部宇奈月キャニオンルートについて。

来年2024年に黒部宇奈月キャニオンルートが開通します。

これは黒部ダムへ、長野県の扇沢や富山県の立山駅からのルートを使わずに、宇奈月・樺平経由で直接ダムへ行くことができるルートです。このルートは、戦前・戦中の仙人谷ダム建設の難所であり吉村 昭の小説で有名になった高熱隧道や、戦後の黒部ダム建設で使われた標高差456メートル、斜度34度のインクラインを通るものです。これまでこのルートは抽選当選者に年1回、しかも片道のみ利用に限定された公開でした。これまで普通の観光客は日常的に利用できませんでした。

来年の黒部宇奈月キャニオンルートの一般利用開始によって、黒部ダムまで黒部川に沿って直接行くことができるようになるため、これまでの立山黒部アルペンルートの利用者の流れが大きく変わる可能性があります。また、黒部宇奈月キャニオンルートは自動車だけでなく、北陸新幹線や大糸線、日本海ひすいライン、あいの風とやま鉄道、富山地方鉄道などの鉄路を移動手段とした広域観光ルートを構築することができます。

以下、3点について伺います。

(1) 市長は黒部宇奈月キャニオンルートの開通について、当市の交流人口の増加や大糸線の利用促進との関連でどのような期待や戦略をお持ちでしょうか。

(2) 黒部宇奈月キャニオンルートの開通に伴う人流の変化や増減について、市では検討していますか。

(3) 立山黒部ジオパークや広域観光で関係する富山・長野の市町村と連携して検討をしていますか。

2、回遊型観光ルートの構築についてです。

観光ルートは往路と復路が同一の「I型」よりも、往路と復路が異なる「O型」がより多くものを見学でき、満足度が高く、滞在時間も長くなります。しかしながら、当市の地形的な特徴から観光地の多くは「I型」となっています。それでも工夫次第で回遊型の「O型」コースを構築できる場所があると考えます。

以下、市長に伺います。

(1) 国指定天然記念物小滝川硬玉産地の小滝川左岸の土地が、市へ移譲された経緯と時期はどうなっていますか。また、この土地の活用を検討されていますか。

(2) 根知の豊醸蔵の前に根知小学校の児童のデザインしたモニュメントが設置されました。フォッサマグナパークの国指定天然記念物の糸魚川ー静岡構造線露頭や巨大枕状溶岩の露頭の見学者が、この豊醸蔵前のモニュメントへ回遊するような仕掛け（案内看板・パンフレット

など)はありますか。

- (3) フォッサマグナミュージアム・長者ヶ原考古館・相馬御風記念館・谷村美術館・玉翠園・翡翠園を回遊する観光については、どのように対応していますか。

3、新潟県や糸魚川市のシンボルの活用についてです。

昨年11月4日に新潟県の第6のシンボルとしてヒスイが選定され、その際、花角新潟県知事は、ヒスイだけでなく他の5つのシンボルについても、紹介していきたいと話されていました。また、当市では既に、市の木・花・鳥・石が選定されています。

以下、市長に伺います。

- (1) 翡翠以外の県のシンボルの実物や画像を当市で紹介する考えはありませんか。
- (2) 翡翠以外の市のシンボルを紹介、観光や教育に活用する考えはありませんか。
- (3) 本年5月に美山公園に植樹された宇宙桜と、既に糸魚川にある宙ユリを連携して、観光や教育に活用する考えはありませんか。
- (4) フォッサマグナミュージアムや長者ヶ原考古館の周辺の林は、ササユリの生育に適した環境のようで、多数のササユリが自生しています。また、長者ヶ原考古館前には、市民の努力によって宙ユリが数多く見られるようになりました。ミュージアムに隣接する化石の谷の周囲には、真柏の若木を植える事業が進んでいますが、その近傍に宙ユリを植えて、宙ユリや市の花ササユリをさらに紹介する考えはありませんか。

4、生成的人工知能についてです。

ChatGPTに代表される生成的人工知能は、さきのG7広島サミットの首脳宣言にもありました。さらに昨日のニュースでも、欧州連合が、そのことについて取り上げておりました。また、1955年から始まった全国青少年読書感想文全国コンクールでも、生成的人工知能を使った感想文を控えることが紹介されていました。また、東京都教育委員会が、この生成的人工知能について、日記やプログラム、校内ポスターへの利用を規制するという報道もありました。また、県内外の自治体、大学、企業、報道関係者などからは、生成的人工知能への対応・期待・懸念が発表されています。

以下、伺います。

- (1) 市長は生成的人工知能について、どのような見解・方針をお持ちですか。
- (2) 糸魚川市ではこの生成的人工知能の公的業務での活用や、問題点について検討していますか。
- (3) 教育現場での活用や、児童生徒の利用の是非や問題点について検討していますか。
- (4) 現段階で職員や教員に対して、生成的人工知能の公務での使用について、何らかの指示を出していますか。また、同様に私的な使用について、何らかの指示を出していますか。

以上で、1回目の質問を終わらせていただきます。よろしくお願いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

宮島議員のご質問にお答えいたします。

1 番目の 1 点目につきましては、既存の立山黒部アルペンルートに加え、新たな観光ルートが増えることとなり、北陸地方に観光客が訪れるきっかけとなると考えております。

2 点目につきましては、現時点では具体的な情報が少ないことから、情報収集に努めてまいります。

3 点目につきましては、今後の動きを見ながらジオパークを生かした連携や北アルプス日本海広域観光連携会議においても、検討してまいりたいと考えております。

2 番目の 1 点目につきましては、硬玉産地の保全のため、令和元年度に土地 5 筆を取得いたしました。

2 点目につきましては、ジオパーク協議会のホームページで、断層露頭からは、モニュメントなどをつなぐコースを紹介しておりますが、さらにフォッサマグナパーク周辺の回遊につながるアプリの導入などを進めております。

3 点目につきましては、現在、一部の施設において使用できる共通入館券の販売や割引クーポン券の配付を行っているほか、タクシーを利用した市内施設を周遊するツアー商品を糸魚川駅で販売いたしております。

3 番目の 1 点目につきましては、市のホームページからリンクいたしております。

2 点目につきましては、小学校理科の副読本やジオパークの資料集に記載し、理科や総合的な学習の時間を中心に学びを深めております。観光面については、今後検討してまいります。

3 点目につきましては、寄贈いただいた宇宙桜をご縁として、全国の小中高生が集まる復興宇宙サミットに市内の高校生から参加いただく予定といたしており、当市の宙ユリとともに、子供たちの教育や交流人口の拡大につなげてまいります。

4 点目につきましては、長者ヶ原考古館周辺に、宙ユリの植栽区域がありますので、紹介方法を検討してまいります。

4 番目の 1 点目につきましては、生成型人工知能を正しく活用することにより、市民サービスの向上、業務の効率化に資することができると考えております。

2 点目につきましては、庁内のDX推進委員会において、その活用や業務の範囲などを検討してまいります。

3 点目につきましては、今後、文部科学省が策定する生成AIの学校現場での利用に関するガイドラインにより対応してまいります。

4 点目につきましては、今後ガイドラインを設けるなど、活用を検討してまいります。

以上ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしく願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

順序に従って、質問をさせていただきます。

かつてフォッサマグナミュージアムの友の会で、黒部宇奈月キャニオンルートを見学したことがございます。見ると聞くとでは大違いということわざがありますように、ぜひ今年度中に黒部宇奈

月キャニオンルートに関係する方々が実際に入って、その魅力、特徴を把握されるほうがよろしいかなと思います。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えさせていただきます。

おっしゃるように、やはり百聞は一見にしかずでございますので、ジオパーク協議会を通じまして、現場のほうを確認させていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

市長答弁にありましたように、黒部宇奈月キャニオンルートは、今まで空バスしか通っていなかった立山黒部アルペンルートに大きな影響を及ぼすと思います。今まで私も何回かそのルートは通ったことありますけども、高熱隧道とかインクラインは、経験がございません。非常に魅力的な存在になると思います。そのため、大勢の方が黒部宇奈月キャニオンルートに訪れる可能性があります。そういった方々は、日帰りでの観光客ではなくて、必ず泊を伴う観光だと思います。そのときに、糸魚川や小谷、白馬、さらに大町を含めた広域的な観光の流れが構築できるはずです。これは作戦次第だと思いますので、ぜひそういった視点で、今から広域の連携を始めていただきたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えさせていただきます。

糸魚川を訪れる観光ツアーを新たに造成する際には、やはり黒部宇奈月キャニオンルート新たな観光資源として活用していきたいというふうに考えております。そのツアーを造成する際には、やはり引き続き情報収集に努めるとともに、観光客の流れを予測し、富山県や、また近隣の黒部市など、市町村との連携を考えていかなければいけないなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

ぜひ黒部宇奈月キャニオンルートの魅力を正確に把握していただくことが大事かなと思います。自分のところだけよく見えても、ほかのところを知らなければ何がいいのか分からないと思います。

お聞きしたいのは、今までジオパークでは、新潟県内の3ジオパークの連携は非常に緊密に行われてきたと感じております。

ところが、最も近い立山黒部ジオパークとの連携は、意外に少なかったように思います。例えば立山黒部ジオパークの魅力とは何なのかと。簡単に説明してくださいといってもなかなか説明しにくいんじゃないかと思います。私は思うに、黒部立山ジオパークには世界で最も新しい花崗岩があります。

一方で、日本で最も古い花崗岩もあるんです。石もあります。それから国会議事堂を造った石も宇奈月にあります。そういった魅力をやっぱり我々も知って、向こうはすごいものもあるんだと、そういうことを知らないで、きちんとした魅力が把握しにくいんじゃないかと思いますが、ぜひ県内だけでなく近隣、特に立山黒部ジオパークとの密接な連携を今後図っていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えさせていただきます。

糸魚川市は、富山県の県境にありますので、やはり梅海新道の情報発信や、また県境で実施しますジオツアー、その辺につきましては、必要に応じて立山黒部ジオパークのほうとも情報交換のほうさせていただいておりました。やはり立山黒部ジオパークも、JGNの中部ブロックに属しております。定期的な交流や教育旅行誘致に向けた協議なども、随時行っておりました。

いずれにしても、隣接するジオパークとしまして、今後より一層に連携強化について検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

補足して、お答えさせていただきます。

本当に一番身近なジオパークでございます。

しかしながら、ご承知のとおり、立山黒部ジオパークについては、構成が時々変わっていた部分がございます。そのようなことで、この学芸員や職員が変わっている中においては、なかなか構築する、その連携の構築がなかなか難しかった部分があるかと思っておるわけでございますが、一番近いところでございますので、今ほど課長が答弁したとおり、これからどのように連携をしていくかというのは大きな課題でありますし、向こうからもそのようなアプローチをいただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

ありがとうございます。糸魚川ジオパークに来てもらうだけでなく、市民が別のジオパークを訪問することも極めて大事だと思います。

先日、九州の長崎県の五島列島のジオパークの方が、手弁当で糸魚川ジオパークに研修にいらっ
しゃいました。その逆のパターンもあってほしいなと思いますが、糸魚川ジオパークのホームペー
ジには、近隣のジオパークについての説明があまりないようなんですが、その辺はいかがでしょ
うか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

今の現状なんです、やはりこの地域からほかの地域のジオパークに訪問するようなツアーのほ
うは、残念ながら実施してはおりません。ご指摘のとおり、外から来ていただくことはよくありま
すが、今後やはりほかにも出ていくことは必要かなというふうに思っております。

また、ご指摘いただきましたホームページにつきましては、国内の日本ジオパークのホームペー
ジには、各ジオパークに対してリンクのほうは貼られておりますが、やはり近隣のジオパークを紹
介するようなものにはなっておりませんので、今後どのような形が分かりやすく連携できるのかと
いうのは検討していきたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

黒部宇奈月キャニオンルートの開通は、約1年後です。そのときには、北陸新幹線の敦賀延伸も
なされてるわけですね。现阶段で、敦賀延伸に伴う人流の変化、そういったものはどの程度検討さ
れてますでしょうか。

○議長（松尾徹郎君）

暫時休憩いたします。

〈午前11時31分 休憩〉

〈午前11時31分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

今現在、やはり鉄道ということで北アルプス日本海広域観光連携会議等を使いまして、北陸新幹

線沿線の都市にPRのほうを行っております。やはり今回、キャニオンルート等を新たな観光資源として活用し、各都市にPRを行うとともに、全国的にやはり観光の資源としてPRのほうを行っていききたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

私の通告書に隣接する長野県、富山県と書いてあっただけで石川県とか福井県というのを書いてなかったの、大変失礼いたしました。

石川県の話になってしまうんですが、よろしいでしょうか。

白山手取川ジオパークが、本年5月にユネスコ世界ジオパークに認定されました。糸魚川に最も近いユネスコ世界ジオパークです。長年、白山手取川ジオパークを推進してきた山田前市長は、米田市長と大学が同窓です。吉報を聞かずに3月に急逝されたわけですが、大変に気の毒に思います。

この白山手取川ジオパークとの今後の連携、世界ジオパーク同士の連携、これは密接にやってほしいという気持ちがあるんですが、現段階でどのように考えてらっしゃいますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

先般、白山手取川ジオパークは、やはり認定されまして、白山のほうでも大きなセレモニーのほうを開催したところがございます。白山手取川ジオパークとは、やはり定期的に近隣でございますので交流のほうはしておりますが、このたびのユネスコ世界ジオパーク認定を契機に、北陸新幹線敦賀延伸も見据えて、新たな連携手法について協議のほうを進めてまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

2番目の回遊型観光ルートの話に移りたいと思います。

初日の行政報告の公共事業内示内訳表に、農林水産省の林道施設保全対策で入山線の文字があり、入山線の再開が、本年8月頃になると伺いました。ヒスイ峡で回遊型観光ルートができるようになるわけで、私としては非常に喜ばしいと思います。

ここで聞きしたいのは、従来から、地元から提案されている夏季限定の、その一方通行ルート、入山線でヒスイ峡まで行って、高浪線で高浪の池まで上がるという、そういう回り方ですね。反時計回りの。そうすると対向車が来ませんので、実は大型バスでも入山線、中型ぐらいかな、入ることはできるんです。現段階でも高浪線は、大型バス入ってます。ぜひ一方通行の、夏季限定ですけ

どね、といったものもただいま検討されてますでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えさせていただきます。

林道の一方通行につきましては、3年ほど前だったかと思うんですけども、一部検討させていただいたことがございます。

ただ、林業従事者等との関係もございまして、また多くのほうでの工事車両通行等もございまして、どちら側の一方通行がいいかということをお話させていただいたんですけども、結論が出なかったんですけども、今後もその一方通行という部分については、引き続き地域の声を聞きながら、可能かどうかという辺りは検討してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

ゴールデンウイーク、高波の池に行ったところ、キャンプ場が満杯で、キャンセル待ちが出るぐらいの人気だそうです。これは、コロナ禍でキャンプというものの魅力が非常に伝わった結果だと思います。コロナがある程度収まってきた現段階でも、さらに大勢の人という自然派志向の人たちがいらっしゃるんです。そのときに、やっぱり大型の工事車両が、目の前から突然やってくるような状況というのは、できれば避けたいところなんですね。そのためには、一方通行化が一番安全な方法かなというふうに私は思います。平日も休日も全部ということではなくて、例えば観光客が多く利用するような土日限定とか、そういったものを含めて早急に検討していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

今回お話いただいております周遊の中には、県道もございまして、また市道もございまして、そのほかの道路管理者のほうで一方通行が可能になるか、また交通管理者との協議等も必要になってくると思います。今言われましたように、工事車両ばかりでなくて、林業の主たる目的であります林業従事者の方々の仕事の具合というのもございまして、今後どのような体制が取れるのか、引き続き検討してまいりたいと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

回遊型観光ルートの中で、フォッサマグナミュージアムとか考古館、それとともに、先ほど谷村美術館という名前を出ささせていただきました。谷村美術館が開館して、今年で40周年になるわけです。このことは、市としてあまり紹介されていないように思うんですが、例えばそのポスターが庁内に貼ってあったり、公共施設の中に貼ってあったり、そういうことあんまりないんじゃないかと思いますが、どのようにPRされてますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

谷村美術館のPRにつきましては、ホームページ、また今おっしゃったように、ポスター、チラシ等、各要所のほうにですが、配付のほうさせていただいてはおります。

しかし、今ほどのご指摘のとおり、あまり身近に感じられないということもありますので、今後一層、周辺、また各施設に十分にチラシ等を行き渡るようにしたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

谷村美術館は、これまで文化勲章を受賞した村野藤吾と澤田政廣の2人だけで紹介されがちだったと思うんですね。私、ジオパークに関わってた者として、ジオパークでは多くの人・こと・ものをリンクさせて紹介してきました。

村野藤吾についても、どんな紹介ができるかなといろいろ勉強したんですが、次のような物語が語ることができるんじゃないかと思います。ちょっと長くなりますけれどもご紹介させていただきます。

村野藤吾は、佐賀県の唐津の出身です。建築に関わる人なら誰でも知っている辰野金吾、この人は東京駅の駅舎の設計者です。その人と同郷なんです。村野は、小倉の工業学校を出てます。実は、その直後に松本清張が小倉にいました。村野藤吾は、大学にその後行くわけですけど、大学に行く直前に八幡製鉄所に勤務してるんです。

実は、その八幡製鉄所の初代所長は、ナウマンと共に日本の地質学の黎明期を支えた和田維四郎です。当時は、官営八幡製鉄所と呼ばれてました。

それから、村野藤吾は早稲田大学の理工学部の建築学科を出ています。皆さんご存じの小野 健さんも、早稲田の理工学部に学びました。

実は、その早稲田の理工学部の設立の資金は、かつて青海川の上流にあった橋立金山のオーナー、竹内明太郎といいます。その人の資金が、大隈重信を通じて提供されたんです。橋立金山は、この糸魚川で一番最初に電気が灯った場所として有名です。電気が灯ったときに、直江津の人たちから、こちら山が明るくなって、山火事じゃないかと大騒ぎになったという逸話も残っているそうです。その橋立金山の明太郎は、実は吉田 茂の一番上のお兄さんです。吉田 茂の末裔は、ご存じのよ

うに歴代の首相、何人もいますね。それから竹内明太郎は、株式会社小松製作所の創業者でもあります。小松製作所に行くと、竹内明太郎の胸像があります。

このように、人と、ものと、ことが、ものすごく複雑に絡み合う物語が、ジオパークの面白さかなというふうに私は思っています。

ぜひ谷村美術館も、こんなような視点の紹介方法もあるなということで、今後、語り部の人にこういった手もあるよと伝えていただきたいと思います、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えさせていただきます。

今ほどご提言いただきました、人・こと・ものですか、も活用して、ストーリー性の持たせた各観光施設等を巡回できるようなモデルコース等を検討していきたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

ぜひものを点ではなくて線、あるいは面で連携させると、一品料理ではなくてコースメニューの魅力が出てくると思います。ぜひご検討ください。

3番目です。新潟県や糸魚川市のシンボルの活用についてですが、この活用について知事が発言されたわけですが、今後、県からは利活用について、市にご提言があるかもしれません。

ただ、県の石のヒスイは、糸魚川ならではなんです。今が旬です。その時を逃さずに、逆に市から県のシンボルの、ほかの市も活用を地域振興局に働きかける。糸魚川市から逆に提案するんです、何かに使おうよと。そういったことは、できませんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

県につきましては、地域振興局を通じまして、こちらからシンボルについてどのようにお考えになっているか、県の意向を伺った上で、市のシンボルと併せて一緒にPR等できるかというのは、検討してみたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

現状では、県のシンボルをホームページ上で写真で紹介してるわけですが、できれば実物を市内で見せることはできないかなというふうに思います。トキの実物を糸魚川に持ってくるって

のは非常に困難ですが、それ以外のものについては、比較的容易にできるんじゃないかと思います。例えばフォッサマグナミュージアムであれば、ユキツバキ、雪割草は既にあります。ニシキゴイも既にいます。ヒスイも既にあります。あとチューリップをきちんと植えれば、できるわけですね。トキについてはオブジェを置くとか、そういった手もありますので、そういったいろんなアイデアを市の方々が考えていただいて、振興局にご提言いただければと思います。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

アイデアの件につきましては、当然市だけでは決められない話だと思っておりますので、そのような部分を含めまして、当然展示する場所等もあるかと思っておりますので、県のほうと相談しながら検討してまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

ニシキゴイに関係した話ですが、上皇様が魚類学者であることはご存じの方も多んじゃないかと思います。国際的な学術雑誌である「サイエンス」という雑誌にも、論文が掲載されております。この魚類学者上皇様が、ご提案されて作られたニシキゴイがあるんです。それをご存じでしょうか。

それは、普通のニシキゴイよりもひれが非常に長い。これはヒレナガニシキゴイと呼ばれてまして、皇居の東御苑、ちょうど東京駅から皇居に向かって右側にあるんですけども、かつて江戸城の本丸とか大奥があった場所です。この東御苑に隣接した二の丸庭園というのにヒレナガニシキゴイがたくさん飼われてまして、非常にひれを優雅に泳がせています。上皇様が作出されたものなので、入手は困難なのかなと思ってましたが、インターネット上で調べたら稚魚が1匹3,000円で売られてました。ただし、完売になってましたけども、毎年、時間を見ていれば、入手は可能です。

調べてみると、池だけじゃなくて水槽で飼うと、ニシキゴイはそんなに成長しないそうなんです。ということは、こういった公共施設、学校内でヒスイとともに県のシンボルとしてのニシキゴイ、しかも上皇様が考えたニシキゴイということで展示できるわけです。この辺り検討されてはいかがかなと思うんですが、庁内に関係するものと学校に関係するもの両方なんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

ご提案ありがとうございます。ニシキゴイにつきましては、いわゆる県のシンボルがニシキゴイということでありまして、特に種類はないかと思っておりますが、当然市で決められるわけでもございませんし、県の意向、いわゆるニシキゴイに入れる思いというものもあるかと思っております。その辺

もご意見を伺いながら、検討してまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

今度、花伝説・宙への関係ですが、花伝説・宙へのプロジェクトで、当市のササユリが宇宙に行って、戻ってきて、今宙ユリとして花を咲かせてるわけです。

花伝説・宙へでは、全国16か所の植物の種が宇宙に行きました。16か所のうちの14か所は桜です。そのほとんどは天然記念物、あるいは中には特別天然記念物の桜もあります。1か所が、つくば市のスマレ、最後の1か所が、糸魚川のササユリだったわけです。

なぜ全国で唯一、糸魚川のササユリが宇宙に行けたのか、行くことができたのか。この物語は、一部を知ってる方は結構いらっしゃるんですが、本当の真相、真相というか事実、そういったものは、意外に語られてこなかったように思うんです。実は、長谷川さんという方が小野さんに取材に来て、これは業務とは関係なく、自分の小説を書きたくて来た。梅海新道殺人事件というのを書こうとしてます。で、小野さんに取材した。そのときにササユリの話聞いたのが頭に残ってたそうです。ササユリは、学名にジャポニカというのがつきますので、翻訳すると日本ユリとなるんですね。そういったものがきっかけで、宇宙に行けた。こんなような話は、例えば現状の解説板には全く書かれてませんし、ホームページにもない情報なんですね。

先ほど村野藤吾に関して、いろんな物語があるよという話をしましたが、宇宙に行ったササユリについてもそういった物語ありますので、ぜひそういったものを人・こと・ものを有機的につないだ紹介を心がけていただきたいと思いますと思いますが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嵐口文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 嵐口 守君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（嵐口 守君）

お答えいたします。

そのストーリーにつきましては、私もいろいろと探しておりまして、どんなご縁かというのを今改めてお伺いして、知ったわけでございます。そういったものを踏まえて、今後QRコードのPR等も含めまして、検討してまいりたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

最後の4番目の生成的人工知能についての質問に移ります。

この生成的人工知能、ChatGPTが一番有名ですけども、神奈川の横須賀では、全国の自治体で最も早く導入したと伝えられました。本県でも、長岡市は非常に積極的ですし、新潟市も同じく試験運用を始めたようです。糸魚川市もDX推進本部で研究をされてるということですが、情報をいろいろ集めるだけじゃなくて、先ほど百聞は一見にしかずということわざもありましたけども、

ぜひ実際に使って、どういうものなのか、それを知ることが大事だと思うんです。その辺どのようになっていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

生成的人工知能につきましては、いろんなメリットもあるかと聞いておりますけれども、その反面、不安定要素も多々あるというふうに聞いております。

ただ、便利である機能というのは、間違いないと思っておりますし、庁内でもある程度、利用については範囲なり、やり方なりを検討した上で試験的に使ってみたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

例えば生成的人工知能に問いかける仕方、いろいろ工夫できると思うんですね。その問いかけ方で、どのように返事が変わってくるか、実際体験されるのがすごくいいと思うんです。正しい答えが出るとは限らないと思うんですね。それも、どういう質問の仕方をするか、どういう間違っただけの答えをするのか。そういったものを知ることが大事だと思います。ぜひよろしく願いいたします。

この生成的人工知能は、その利用が子供たちも、もう既に始まっているわけです。親たちは、子供が利用することによって批判的思考能力が低下したり、創造性へ影響したりと、そういったことを心配しています。これ教員も同じく心配しています。これは、簡単に言えば、生成的人工知能を使えば楽なので、わざわざ苦勞して勉強しなくてもいいわけですね。学校の宿題が出てきたら、全部それに入れて、答えが出てきちゃう、そういったこともあり得ます。この辺りは、教育委員会ではかなり重要な問題だと思いますが、どのように今の段階で研究とか、実際使われていますでしょうか。その辺伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

先ほど答弁がありましたとおり、この夏の前に文部科学省からガイドラインが出ますので、それらを研究しながら、また学校のほうに指導していきたいと思っています。現段階では、使用については認めていないというところではありますが、今、議員さんがおっしゃったとおり、メリットもありますし、一方デメリットもあります。そんな中で、また文部科学省は、情報活用能力といったところの重要性についても言っていますので、安易に批判ばかりするのではなくて、そういった子供たちがこれからの社会で生きる中で、情報活用能力、情報を取捨選択しながら、上手に活用していく力を身につけるよう、また、中身について検討・研究していきたいと思っています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

学校現場では、授業に使うことというのはまだやってないようですが、例えば先生方が、生成的人工知能が入ったものを試しに使ってます。実際、問いを入れると、こんな答えが出てくる。そういった体験は、研究の一環としてされてますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

今のところ市役所のこども教育課の中ではしておりますが、教職員のほうは、まだしておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

生成的人工知能は、インターネット以上の革命的な発明だという指摘もあります。使い方によっては、今までよりもはるかにすごいことができるようになります。

ただ、悪用の懸念も多いわけです。私、心配するのは、現段階で生成的人工知能が出す答えは、正しいとは限らないわけです。ところが、正しいのか正しくないのかを見極める力すらないような人に、この生成的人工知能を使うことによって、なってしまう可能性があるんです。そうになると、非常に怖い状況になりますよね。その辺りを十分研究していただいて、今後、使い方、そういったものを考えていただきたいなと思います。要望です。

これで、私の一般質問終わりますけれども、今回の質問では、黒部宇奈月キャニオンルート、それから回遊型観光ルート、それから県と市のシンボルの活用、最後に生成的人工知能の4点について、質問いたしました。

ジオパークが始まるまで、糸魚川とその周辺にある、人・こと・ものは、ともすると単品で捉えてました。例えばけんか祭りだけとか、それから藤崎の地引き網だけとか、そういった単品でした。ジオパークになってから、それぞれ有機的につなげるようになってきてますので、それをさらに推進していただいて、先ほど私が幾つか紹介した人・こと・ものの物語を皆さんでも発掘していただいて、ぜひそれを人材育成、それから地域振興等々に生かしていただきたいなと思います。私も、ない頭でもう少しいろんなストーリーがあるかどうか考えてみたいと思いますし、勉強したいなと思っております。

私の目標は、12年後の皆既日食まで生きていきたいというのが、横山さんからのアドバイスもいただきましたので、あと12年は、12年後の9月2日までは生きていきたいと思います。今後ともよろしく願います。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で宮島議員の質問が終わりました。